

石狩川橋

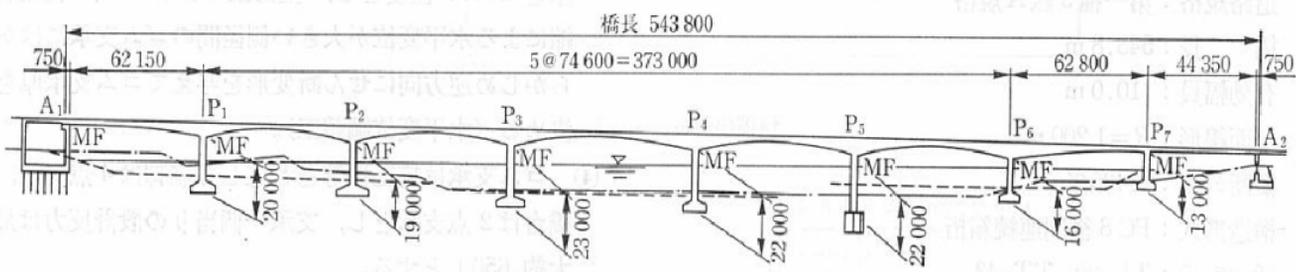
石狩川に架けられたゴム支承を採用した多径間連続PC箱桁橋



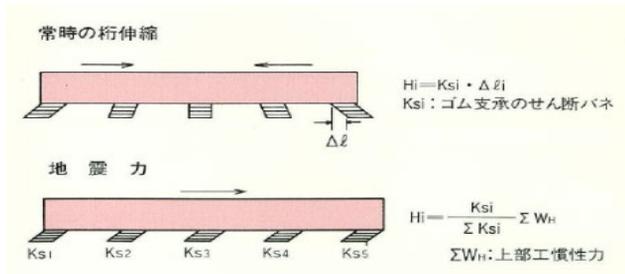
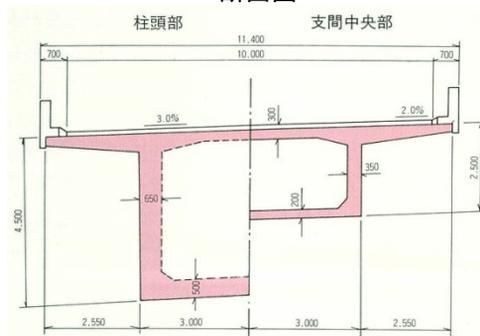
施主	日本道路公団
施工場所	北海道深川市
完成年	1989年
橋長	543.8m
形式	8径間連続PC箱桁橋
全幅	11.4m
最大支間長	74.6m
架設工法	片持ち張出し架設工法
受賞	PC技術協会 技術開発部門 1989年
参考文献	プレストレストコンクリート 1990年 No.2

本橋は、建設当時には反力分散方式のゴム支承を採用した最長のPC橋であった。
支承厚を抑えるために、両端付近の支承にはあらかじめ逆せん断変形が与えられた。
各橋脚においては、ジャッキアップと強制変位が併用され変位量の調整が行われた。
橋梁完成後には、急速解放機能を有するジャッキによって振動試験が行われた。

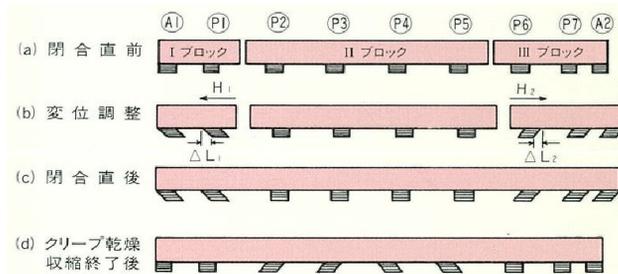
一般図



断面図



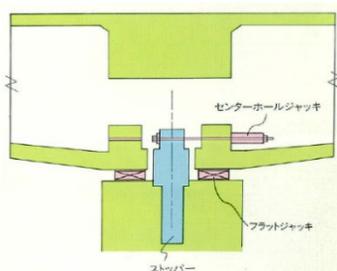
ゴム支承による反力分散



水平変位調整



ゴム支承・ストッパー据付け



強制変位工



河川内での施工



移動作業車による施工

